

2025年7月7日

東京地方裁判所民事第50部合D係 御中  
令和7年（ワ）第7441号 国家賠償請求事件  
原告 柴田 ほか3名  
被告 国

原告ら訴訟代理人

弁護士 高 野



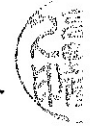
同 宮 村 啓 太



同 谷 口 太 規



同 井 桁 大 介



同 趙 誠 峰



同 吉 田 京 子



同 亀 石 倫 子



同 小 林 英 晃



同 鵜 飼 裕 未



同 戸 田 善 恭



同 志 塚 永



同 馬 淵 未 来



同 安 藤 光 里



同 平 岡 百 合



同 齋 藤



## 証拠説明書(2)

甲号証の証拠説明は次のとおりである。

号証	標目 (原本・写しの別)	作成年月日	作成者
	立証趣旨		
甲A26	保釈の決定書に関する報告書	原本	2025.7.2
	原告ら代理人弁護士 井桁大介		
原告ら代理人弁護士が提出を受けた保釈決定書または保釈に関する準抗告・抗告の決定書について、権利保釈を根拠として保釈を認めた事例は一つもないこと。			
甲A27	資料出力報告書	原本	2025.7.2
	原告ら代理人弁護士 井桁大介		
最高裁判所が発行する司法統計において、1980年までは権利保釈と裁量保釈の件数が記録されていたこと。また、1980年当時は権利保釈による保釈が多数であったこと。1981年以降、司法統計に権利保釈と裁量保釈の内訳が記載されなくなったこと。			

号証	標目（原本・写しの別）	作成年月日	作成者	
	立証趣旨			
甲B15	陳述書	原本	2025.6.19	原告浅沼智也
<p>原告浅沼氏について、強制わいせつ被疑事件として逮捕・勾留され、暴行被告事件として起訴され、無罪判決を受けたものの、第一回公判期日まで勾留され続けたこと。留置施設においてトランスジェンダーである浅沼氏へ無配慮な対応をされたこと。身体拘束による精神的・社会的損害を受けたこと。提訴への思い等。</p>				

号証	標目 (原本・写しの別)	作成年月日	作成者	
	立証趣旨			
甲C14	陳述書	原本	2025.6.25	原告柴田
<p>原告柴田氏について、覚醒剤の密輸をしたとして逮捕・勾留・起訴され、無罪を争っていたこと。判決確定まで一度も保釈されなかったうえ、第一回公判期日まで家族を含めて接見禁止をうけていたこと。勾留されていた当時の状況・心境や、提訴に至る経緯等。</p>				

号証	標目（原本・写しの別）	作成年月日	作成者
	立証趣旨		
甲D7	陳述書	原本	2025.7.7
	原告天野遙		
	原告天野氏について、詐欺事件等で逮捕・勾留・起訴され、無罪を争っていること。逮捕から6年6か月以上、一度も保釈されず、接見等が禁止されていること。また、勾留により健康上・経済上の損害をうけているうえ、拘置所内で刑事裁判の証拠の確認等もできず、防御権が侵害されていること。提訴への想い等。		

号証	標目（原本・写しの別）		作成年月日	作成者
	立証趣旨			
甲E7	陳述書	原本	2025.5.31	原告盛本
<p>原告盛本氏について、不同意わいせつ致傷事件で逮捕・勾留・起訴され、無罪判決を受けたものの、二度目の保釈請求による保釈決定をうけるまで勾留され続けていたこと。釈放されるために自白調書を作成した心境の内容。その後の拘置所での生活状況。提訴に至った経緯等。</p>				